

8020社会の実現とその経済効果

平成21年3月21日

日本歯科医師会
会長 大久保満男

8020社会の定義

すべての国民が(自分の歯で)楽しく笑い、会話し、
美味しく安心して食べられる社会

健康日本21の中間評価

80歳で20歯以上、60歳で24歯以上の
自分の歯を有する人の増加

80歳(75~84) 20歯以上 **11.5%**

60歳(55~64) 24歯以上 **44.1%**

(平成5年度歯科疾患実態調査)

<目標値>

80歳(75~84)

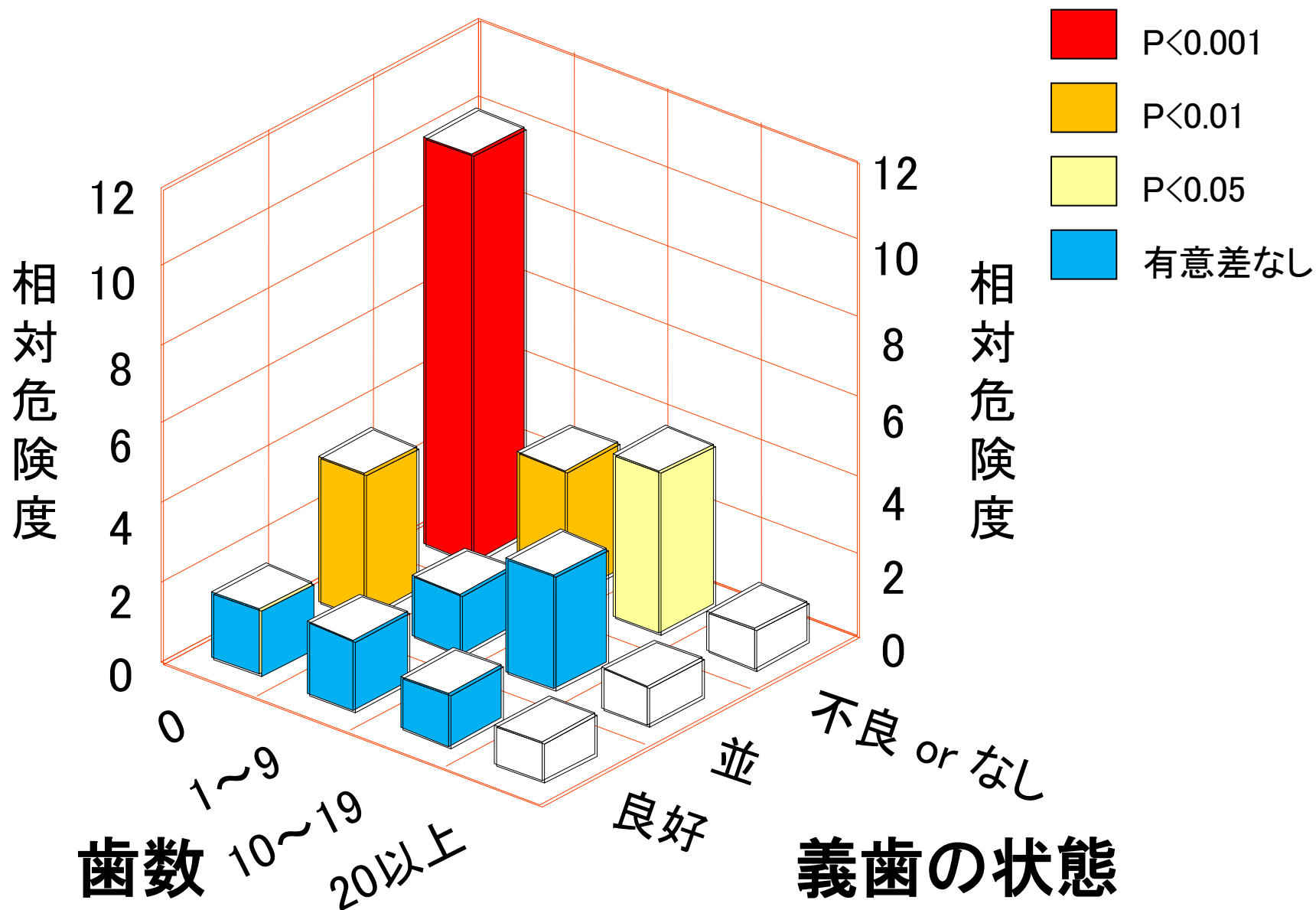
20歯以上

20%以上

<中間実績>

25.0%
達成!

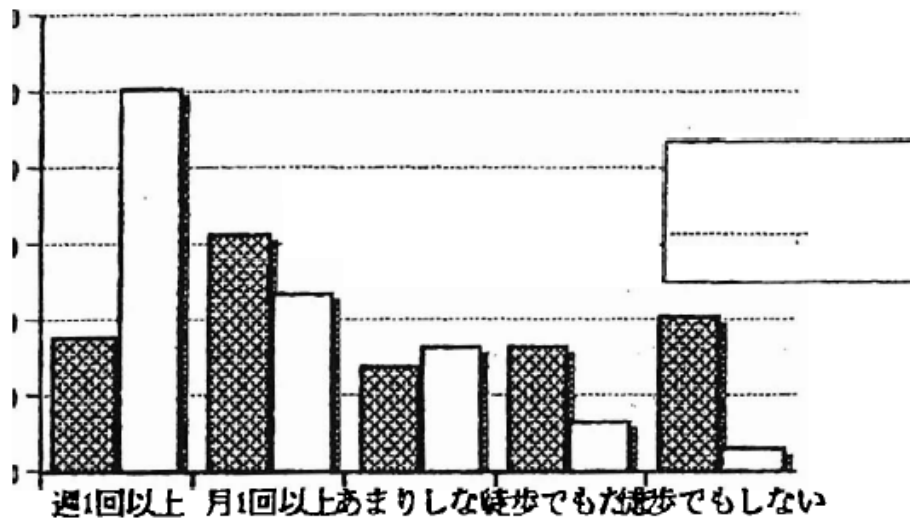
(平成17年度歯科疾患実態調査、平成19年4月公表)



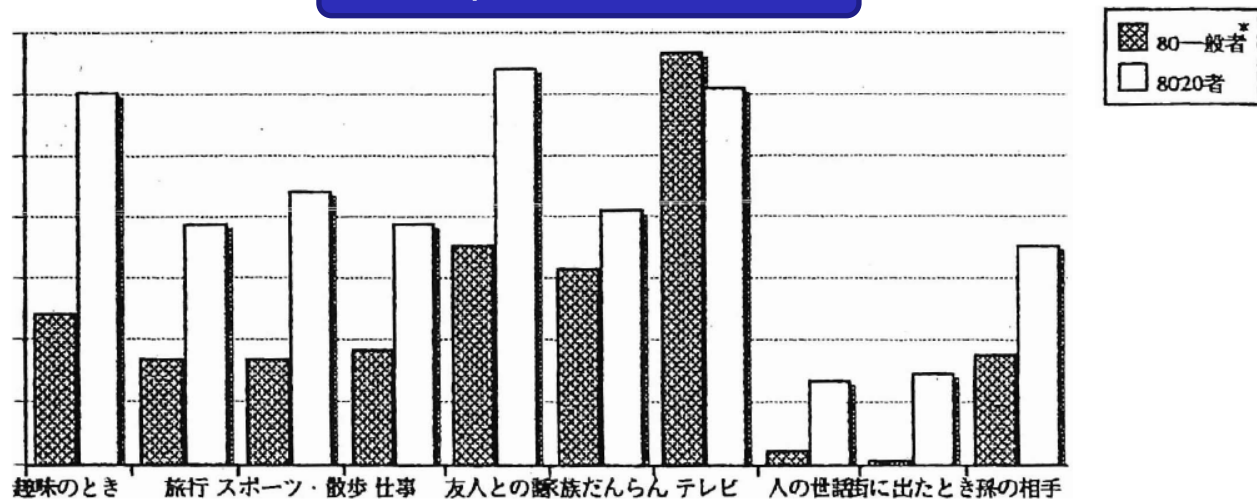
咀嚼機能喪失(咬合崩壊)が**身体的健康悪化**に寄与する相対危険度

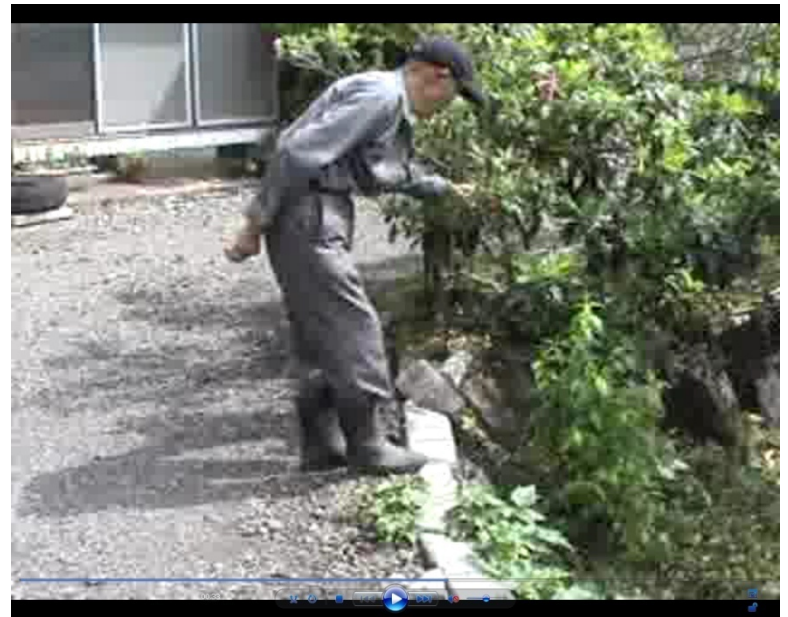
静岡県80歳以上在宅高齢者の生活と健康(県立大調査)

乗り物で外出するか？

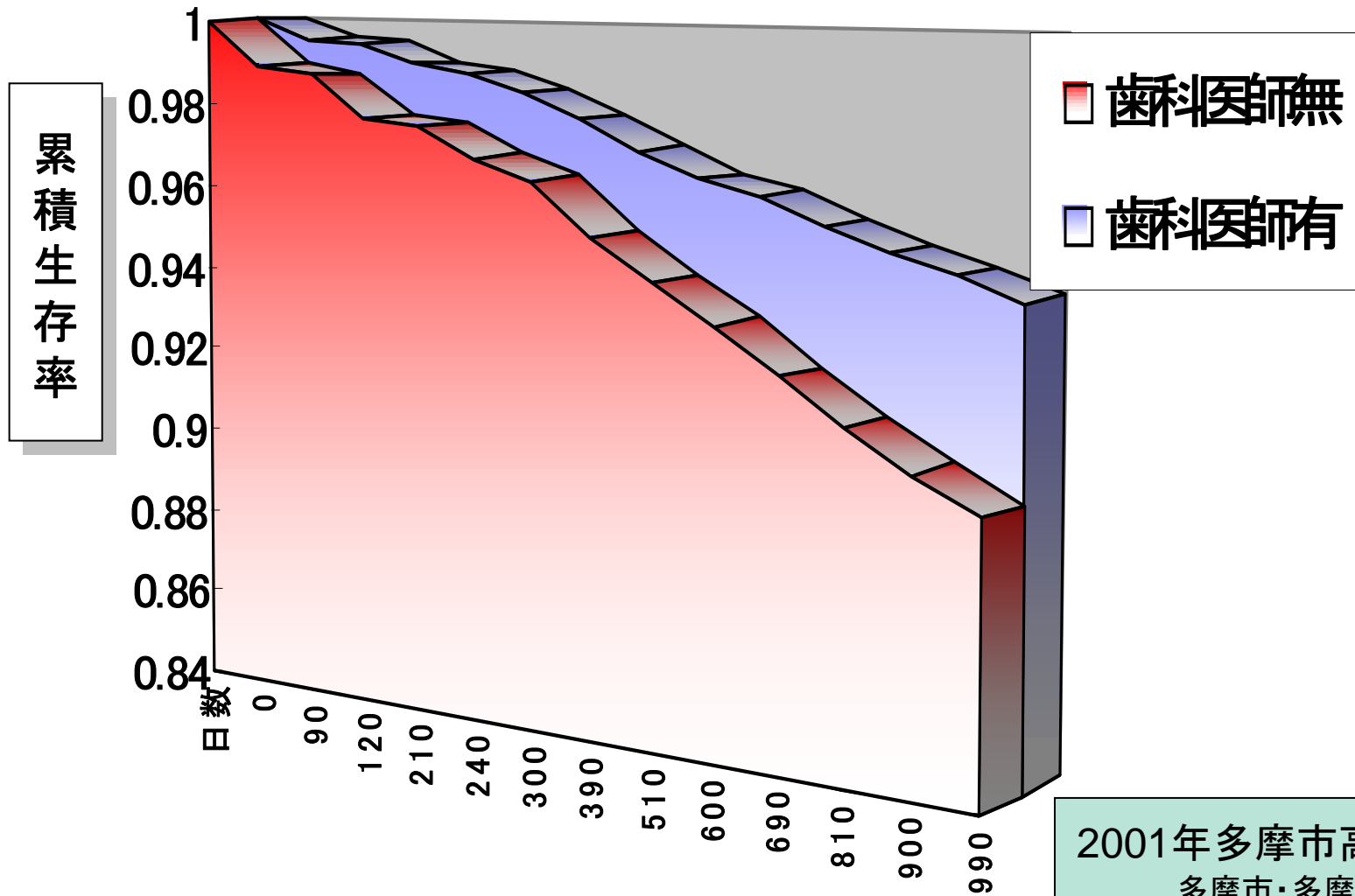


楽しいときは？





かかりつけ歯科医師の有無と 累積生存率との関連・先行研究



2001年多摩市高齢者13,066人
多摩市・多摩市歯科医会・
東京都立大学協働調査